

川柳地区 地域支え合い会議

Vol.5
2022.11

NEWS LETTER

叡明高等学校（越谷市レイクタウン）の学生に協力をいただき、令和4年10月30日（日）、老人福祉センターひのき荘で「スマホお悩み相談会」を開催しました。

叡明高校生が “スマホ講師”

「相談会」でスマホの操作教えます



叡明高等学校 学生ボランティアによる
スマホお悩み相談会
主催：川柳地区地域支え合い会議
相談会に参加してスマホの悩みや不安を一緒に解消しましょう！

日時：令和4年10月30日（日）
午後1時30分～3時
会場：老人福祉センターひのき荘
1階 会議室

スマートフォンでこんなお悩みありませんか？

- 写真の送受信や保存方法、動画の撮り方やネットの検索方法など、悩みは個々人様々でした。
- 申し込み不要
- 申し込み不要
- 申し込み不要
- 申し込み不要

※スマホの操作は個人差があるので、すべてを解決できるわけではございません。お気軽にご相談ください。

【問合せ】越谷市社会福祉協議会 地域福祉課 ☎048-966-3411

【地域の高齢者に向けて】

「スマートフォンの方
がわからない」といった地域の高齢者の方々からの声から、地域支え合い会議では、老人福祉センターひのき荘を活用し、相談会を実施しました。

スマホに興味を持った 高齢者が多数

参加者数は22名で、70歳代が最も多く、80歳代の方も4人訪れ、**高齢者のスマホのニーズの高さがうかがえました。**

川柳地区と隣接する蒲生地区の参加者が8割となり、地域に根差した開催となりました。



叡明高校からは、14人の学生が協力し、**参加者と一緒に悩む姿勢**で実施されました。

一人一人に、じっくり時間をかけて

悩みが解決した方から順番に入れ替え、**学生が参加者**に**マンツーマンで対談**することができました。

参加者はゆっくり悩みを話すことができ、学生は自分のスマホやタブレットで調べながら答えることができる、落ち着いた雰囲気の中で和やかに臨むことができました。

お悩みは多種多様



写真の送受信や保存方法、動画の撮り方やネットの検索方法など、悩みは個々人様々でした。参加者からは、次回の相談会の開催を望む声も全員の声から挙がりました。

学生からは「人に分り易く伝えるのは難しかった」「時間が足りなかった」「自分の知識が役立つのは嬉しかった」など、学生にとっても高齢者との交流は、貴重な経験になったようでした。

“世代を越えた交流”は、どの地域でも課題の一つとなつていきます。しかし「スマホ」というキーワードが共通の話題となり、年齢が50歳以上違えども、会話が弾んでいる姿が見られ、今後の地域活動への展開に、大きな第一歩となりました。

【編集後記】
今やスマートフォンは、私たちの生活を支える手段の一つになっています。ご高齢の方々にとって、進化し続けるICTの活用には、“人の手助け”が必要になることがあります。
地域支え合い会議では、そんな“手助け”となるアイデアを持ち寄り、具体的な取り組みを進めています。会議への参加等、ご興味ある方は是非、お問い合わせ下さい。

☎966-3411
(社協 小林)

